

News Letter

2017年 3月

中国四国農政局
高知県拠点

日本最後の木毛工場

有限会社 戸田商行

木毛（もくめん）は、木を糸状に削ったもので、主に緩衝材として使用されています。この木毛を製造している（有）戸田商行は、日本最後の木毛専門工場です。

昭和36年創業

土佐市本村にある（有）戸田商行は、昭和36年の創業から木毛を作り続けています。

昭和40年代は、全国の120社ほどで盛んに生産されていました。しかし、昭和50年代になると、発泡スチロールなどの石油系の緩衝材が台頭するようになり、製造業者が減少。現在は、（有）戸田商行が日本最後の木毛専門工場となりました。



（木毛削り機は6台あり、50年以上使用している）

原木は全て県内産

創業以来、木毛の原料は全て県産材です。高知県の温暖で多雨な気候で育った県産材は、年輪の幅が広く良質の木毛を生産するのに最適です。また、県内の林業振興への思いが込められています。



（緩衝材で使用）



（乾燥後の木毛）

1日に1トン生産

皮を剥ぎ、木を30～40センチの薪状にカットしたあと、専用の削り機にセットします。

削り機のかんな部分は上下に稼動し、絶え間なく木毛が削り出されます。このときの木毛は、水分を含んでいるため、直ぐに乾燥機にかけて完成となります。

なお、削り機は1秒間に5回の高速稼動で、1日に1トン生産されています。

女性視点

原木は、松、杉、檜、楠を使用しています。

中でも松は、反発やクッション性に優れ、微香で抗菌作用があり、果物などを梱包する時の緩衝材に最適です。開封すると、ほのかな木の香りと高級感に包まれます。

また、社長の戸田実知子さんは、女性ならではの視点で、杉、檜、楠それぞれの木の特徴を活かした商品開発を行っています。



（戸田実知子さん）



（シューズキーパー（楠））



（アロマシート（檜））

次世代へ繋ぐ

戸田さんは、「木毛は生産過程でできる木片や皮も、乾燥機の燃料として再利用しています。また、製造にかかるエネルギーも低い、環境に優しいエコ商品です。この素晴らしい素材を次世代に引き継いでいきたいと思っています。」と話されました。

【植物性自然毒情報】野菜・山菜と似た有毒植物の誤食に注意しましょう

有毒な植物を野菜や山菜と誤って食べることによる食中毒が数多く報告されています。毎年春、特に4～5月に多く発生しています。

このような誤食を防ぐには、野菜を出荷される生産者や山菜摘みを楽しまれる消費者の皆様が、野菜や山菜とよく似た有毒な植物の特徴を知り、見分ける力を養うことも必要となります。

農林水産省では野菜・山菜と間違いやすい有毒な植物の特徴をまとめたリーフレットを作成しましたので、ご活用いただくとともに、よく分からない野草等は食べられないようにお願いします。



【ニラ】

間違いやすい有毒植物
スイセン、スノーフレーク
(スズランスイセン)、キツ
ネノカミソリなど



【ギョウジャニンニク】
(別名:アイヌネギ、
キトビロ、ヒトビロ)

間違いやすい有毒植物
コルチカム(イヌサフラン)、
スズラン、パイケイソウ類
など



【ギボウシ類】
(山菜名:ウルイ、
ギンボ、タキナなど)

間違いやすい有毒植物
パイケイソウ類、コルチカ
ム(イヌサフラン)、ヒメザ
ゼンソウなど



【フキ】
(ふきのとう)

間違いやすい有毒植物
ハシリドコロ、フクジュソ
ウ(福寿草)など

★ 詳しくはこちらをご覧ください。(農林水産省ホームページ)

・野菜・山菜とそれに似た有毒植物(リーフレットはこちらからダウンロードできます)

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/rinsanbutsu/leaflet.html>

・知らない野草、山菜は採らない、食べない!

http://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/rinsanbutsu/natural_toxins.html

「春の農作業安全確認運動」展開中!

毎年、農作業に伴う死亡事故が約350件発生しています。農林水産省では、事故が多発する春作業の3～5月を農作業安全対策の重点期間として、関係団体・企業等と一体となって「春の農作業安全確認運動」を展開しています。皆様におかれましては、安全確認等の励行をお願いします。



(ステッカー)

全国の行政機関、農機販売店、生産者団体などの協力により、研修会、展示会、戸別訪問など農業者に直接接する機会を利用し、農業機械等に貼付できるステッカーの配付などを行い、農作業安全の徹底を呼びかけています。

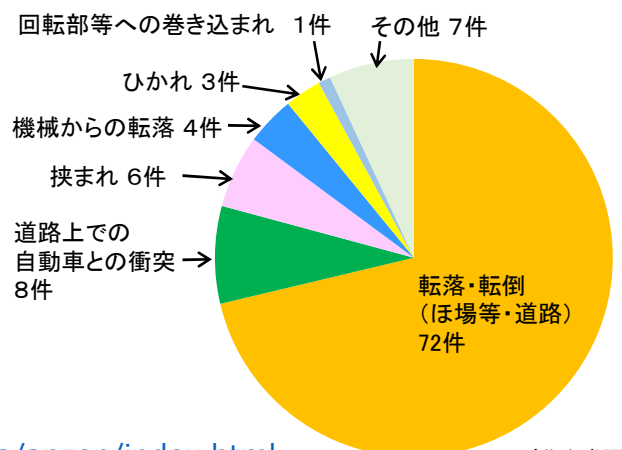
平成27年の死亡事故は338件発生しており、このうち乗用型トラクターに関する死亡事故が、101件(30%)と最も多くなっています。

その中でも、乗用型トラクターの転倒・転落による死亡事故が多く、事故の予防対策が重要です。

事故防止、農作業安全対策に関する資料は、農林水産省ホームページをご覧ください。

http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/index.html

【乗用型トラクターの死亡事故の原因別件数】
(平成27年)



(農水省調べ)

編集:中国四国農政局 高知県拠点

〒780-0870 高知市本町4丁目3-41 高知地方合同庁舎

TEL(088)875-7236 FAX(088)872-7531 <農政局HP><http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆各種メールマガジンを配信中(登録はこちらから) <http://www.maff.go.jp/chushi/mailm/index.html>